

後の
働き方改革
優良企業
vol.3



(株) プレひまわり



人事総務部 統括課長 瀬田 照久氏

社員の求める勤務体系と業務改革を追求

1984年11月に設立した(株)プレひまわり(福山市)は、広島県を基盤に、岡山県、山陰、四国などに100店舗以上のスーパードラッグを運営。薬や飲料・食料品を取り扱うほか、厳選したブランドの化粧品をそろえた店舗(サブラスひまわり)、フェイシャルエステサロンや調剤薬局を併設する店舗も手掛ける。

従業員は社員、パートを含めて現在約2200人に上り、うち80%以上を女性が占める。女性が多く働く職場である同社は、10年以上前から、出産や育児休暇明けの働き方に注力し、改革に取り組んできた。この功績が認められ、2017年9月に「広島県働き方改革実践企業」に認定された。

最初に制度を導入したのは04年。早番、遅番の交代制でシフトを組む同社では、育児休暇明けの社員を気遣って、復帰後も子育てしやすい環境作りをサポート。遅番を免除し、原則午前中からの出勤、勤務時間を一般社員より1、2時間短い短時社員制度を取り入れた。これまでの利用者は10人を超える。

07年には、同社相談役と子育て中の社員、既婚社員、未婚社員10人程度で意見交換するSMAP(スマイル・ママ・アクティブ・プロジェクト)を発足。月1度のペースで女性が働きやすくなるための提案や報告会などを行ってきた。SMAPでの提案で、妊婦用の制服を着用可能にした事例などが改善例に挙げられる。

同時期には、出店地域の拡大に伴い、広域店舗間か地域限定か、異動エリアが選択できる制度も導入した。出産や育児に限らず、既婚者でも家庭の事情で転居が困難な社員を対象にしている。

14年からは、働き方改革をより加速させ、正社員とパートの中間の勤務

体系で働く準社員制度を導入。現場で感じる「こんなことができたなら楽しく働ける!」ことを、店長が中心になり会社に提案する「元氣、やる気、大好きプロジェクト」をスタートさせるなど、画期的な制度を次々に取り入れている。

働きやすさの追求は業務改革にも波及し、アナログ作業だった勤務シフトの作成や業務用端末を使った発注業務の半自動化、店内でのインカム活用など、効率アップを目指した取り組みにも力を入れ始めている。

人事総務部の瀬田照久統括課長は「長く勤められる会社を目指し、現場の声に耳を傾け続けたい。働き易さと共に業務の効率アップも図り、接客・接遇のスキルアップにもつなげたい」と話す。

会社概要

会社名 株式会社プレひまわり
本社 福山市西新瀬町2-10-11
設立 1984年
TEL 084-957-2678
HP <https://www.purple.co.jp>